

鎌ヶ谷市政策評価表

政策の名称	32都市活動を支える交通網整備を進めます		
基本目標	3「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	政策担当マネージャー	都市建設部長
重点政策該当有無		マネージャー氏名	谷口 光儀

I 改革・改善内容(=政策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業の早期効果の発現に向けて、交付金などの活用による財源の確保や、計画的で効率的な用地取得の推進を図る必要があります。	③改革・改善内容	道路については、舗装修繕計画にもとづき、財源の確保を念頭に計画的な長寿命化を図るとともに、新設、改築を要する道路については、都市計画道路整備プログラム、市民要望等を踏まえた事業の優先度、財源等を考慮し計画的に事業を進める必要があります。
②①に基づく取り組み結果	交付金の活用と、計画的な道路の舗装修繕を行うため舗装修繕計画を策定しました。また、新設道路については、事業の必要性、優先度を勘案し、財源として交付金を活用し事業に取り組みました。		

II 政策の目的・概要

①目的	対象	安全でゆとりのある道路ネットワークの形成。利便性の高い公共交通体系の充実。 幹線道路(都市計画道路、主要市道)生活道路(一般市道、私道)	意図(対象をどうするのか)	幹線道路のネットワーク形成、バリアフリー、交通安全で移動空間の安全の確保を進めます。生活道路の環境向上を図ります。 鉄道、バス、タクシー等の公共交通機関が連携し、誰もが利用しやすい交通体系の構築を図ります。
②政策の概要	良好な都市機能を確保するために、道路ネットワークの形成を図ります。このために、都市計画道路整備プログラムに基づき、効果的な幹線道路の整備を計画的に進めます。また、一般道路については、市民が安全で安心して利用できる道路の整備を図ります。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	交通渋滞による利便性の悪化や、安全に利用できる道路環境など、市民の道路に対する不満度は高い。具体的には、幹線道路、更には生活道路の整備に対する市民の要望は高まっています。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28～29年度の施策の成果	道路については、舗装修繕計画にもとづく整備を行うとともに、通学路等の整備の必要性の高い路線について整備を行いました。また、新京成線連続立体交差事業については、1線の高架化が完了しました。コミュニティバスについては、市民要望にもとづき、路線、運行日、便数などの見直しを行い利用利便性の向上を図りました。							
②施策成果指標	指標名称	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	目標値(32年度)	
	1 「道路の状況」不満足度(市民意識調査)	%	66.4	-	-	-	50.0	
	2 都市計画道路整備率	%	33.0	33.0	33.0	33.0	43.0	
	3 鉄道駅乗降客数(1日あたり)	人	191,600	194,322	196,230	集計中	200,000	
	4 市内バス利用者数(1日あたり)	人	1,300	1,305	1,232	集計中	2,000	
	5							
	6							
	7							
	8							
	9							
	10							
11								
③政策の事業費	平成28年度決算	平成29年度決算	市民一人あたり事業費(29年度決算)		平成30年度予算			
事業費(千円)	1,780,819	909,321			8	1,261,174		

IV 評価・検討

①課題	都市計画道路等について、交付金の配分が計画よりも少なく用地取得が進まない。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	通学路整備などに積極的に取り組んでいるが、効果発現には今しばらく時間を必要とするため。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する施策	施策1 安全でゆとりのある道路の整備		
④上記方向性の説明	市民の道路に対する不満度を解消するために、道路の安全性、利便性の向上と渋滞緩和、更には都市活動を支える重要な施策として必要です。		